

## 県立潮来高等学校【総合的な探究の時間の全体計画】(令和6年度)

## 総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働きかせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関する概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問い合わせを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになる。
- (3) 探究に主体的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

## 学校の教育目標

人間性豊かな『自立した生徒・自走できる生徒』の育成～どのような時代であっても一生懸命、自立して主体的に判断・行動できる人間を育成する～

## 令和6年度重点目標

- 1 基礎学力の定着
- 2 社会を意識したキャリア教育の推進
- 3 豊かな人間性の育成
- 4 学科や地域の特色を活かした教育の充実
- 5 信頼される学校づくりの推進
- 6 働き方改革の推進

## 各学校で定める目標と育成する資質・能力

探究の見方・考え方を働きかせ、地域や社会の人、もの、ことに関する総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、適切で論理的な課題の発見と解決ができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

- (1) 地域や社会の人、もの、ことに関する探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の特徴やよさに気付き、それらが人々の関りや協働によって支えられていることに気付く。
- (2) 地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関りから問い合わせを見いだし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身に付けるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身に付ける。
- (3) 地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を育てる。

## 総合的な探究の時間の学習評価

- ・月1回の学年会議で学習活動の評価の観点や指導上の課題を共有する。
- ・学習活動の過程の評価
- ・計画書、中間・最終発表の内容、作成した資料、振り返りシート等を評価の対象とする。
- ・最終発表の相互評価や外部評価を加味する。

## 生徒の実態

- ・悩み等を抱えている生徒への支援
- ・人とのつながりが弱い生徒への支援
- ・自己肯定感の低い生徒への支援

生徒の発達をどのように支援するか  
○配慮を必要とする生徒への指導

- ・担任による個別面談（生徒・保護者）
- ・学年会議での情報共有
- ・スクールカウンセラーの活用
- ・教科や他学年との連携

## 目指す生徒の姿

- ・基本的生活習慣の確立
- ・主体的に学習に取組む態度
- ・資格取得
- ・特別活動への積極的な参加
- ・マナーやモラルの向上

## 各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力

- 1学年
- 礼儀
- (1) 情報収集能力
  - (2) 収集した情報を複数の視点から考えたり、自分の生活とつなげたりして、多角的に表現する能力
  - (3) 異なる意見や他の考え方を受け入れ、尊重し理解しようとする態度
- レポート作成の手順
- (1) レポート作成能力の育成
  - (2) わかりやすい資料作成能力の育成
- 発表用資料の作成の手順
- (1) パワーポイント等の活用能力の育成
  - (2) 効果的な資料作成や分かりやすい発表を行う能力の育成
  - (3) 異なる意見や他の考え方を受け入れ、尊重し理解しようとする態度
- 身近なテーマを設定し情報を収集・分析・発表する
- (1) 情報を多面的に見る、考え方を具体化するなど、探究活動の過程に応じた技能を身に付けています。
  - (2) 調査したことや考えたりしたことまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。目的に応じて手段を選択し、情報を収集し適切な方法で蓄積している。
  - (3) 探究的な活動を通して、異なる意見や他の考え方を受け入れ尊重しようとしている。活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。
- 2学年
- 道徳プラスティキスト「環境問題を考える」
- (1) 必要な情報を広い範囲から迅速かつ効果的に収集し、多角的・実践的に分析する方法を知る。
  - (2) 収集した情報を、複数の視点から考えたり、自分の生活とつなげたりして多角的に表現する。
  - (3) 異なる意見や他の考え方を受け入れ、尊重し理解しようとする。
- 大阪修学旅行を通じ、震災学習を学びながら、地域のよさを知る・感じる
- (1) 情報を多面的に見る、考え方を具体化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けています。
  - (2) 調査したことや考えたりしたことまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。
  - (3) 探究的な活動を通して、異なる意見や他の考え方を受け入れ尊重しようとしている。活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。
- 社会に興味関心を深める
- (1) 職業による自己実現と社会貢献の方法を知る。
  - (2) 学習の仕方や進め方を内省し、現在および将来の学習や生活に生かそうとする。
  - (3) 自己の将来について具体的に考え、夢や希望を持つ。
- 3学年
- 自己を知り、社会を知る
- （大学や専門学校・企業を知る）
- (1) 必要な情報を広い範囲から迅速かつ効果的に収集し、多角的・実践的に分析する方法を知る。
  - (2) 収集した情報を、複数の視点から考えたり、自分の生活とつなげたりして、多角的に表現する。
  - (3) 自分の考え方を効果的に伝え、また、異なる意見や他の考え方を受け入れ、尊重し理解しようとする。
- 他者や社会との関わりを考える
- (1) 必要な情報を広い範囲から迅速かつ効果的に収集し、多角的・実践的に分析する方法を知る。
  - (2) 収集した情報を、複数の視点から考えたり、自分の生活とつなげたりして、多角的に表現する。
  - (3) 自分の考え方を効果的に伝え、また、異なる意見や他の考え方を受け入れ、尊重し理解しようとする。探究的な活動を通して、自己の在り方生き方を考えながら、社会の形成者としての自覚をもって社会に参画し、理想の社会を実現しようとしている。

## 学習活動、指導方法等

## [学習活動]

- ・1年生は、道徳テキスト「大切なことは」を活用し礼儀について考え、身近なテーマを設定し情報を収集・分析し、レポートを作成したり、効果的な発表をしたりする。
- ・2年生は、道徳プラスティキスト「環境問題を考える」を活用し課題を分析し、修学旅行を通じ、平和学習を学びながら地域のよさを知る・感じることで、社会に興味関心を自己と社会との関わり方にについて考えていく。
- ・3年生は、インターネット、図書館、パンフレットなどを活用し、情報収集、分析し考えをまとめた。夏季休業を利用し、会社見学やオープンキャンパスへの参加を通して、自分の進路をみつめる。志望の動機や面接練習で進路に対する考え方をまとめる。
- ・学習の進め方は、個人でまとめたものをグループでの話し合い活動を通して、他者の意見を聞いたり自分の考えを伝えたりすることで合意形成を図る。

## [指導方法]

- ・1年生は、探究の過程を経験し、探究活動を行うために必要な手法を身に付けるを中心とした指導する。また、協働的な学習活動の充実と地域と連携しフィールドワークなど実践的な活動を行う。
- ・2年生は、昨年度の探究活動をベースとして、修学旅行で訪れる大阪の歴史や風土や文化を学び知ることで、自分の生き方、社会や地域での関わり方にについて考える。
- ・3年生は、自己と社会との関わりについて深く考えるために、インターネット・書籍・パンフレット・会社見学・パンフレットなど様々な形で情報収集し、自分の考えをまとめたり相手に効果的に伝えたりする方法を学ぶ。また、自己の将来について、具体的に考え方や希望を持つ。

## [学習評価等]

- ・ポートフォリオを活用した評価
- ・プレゼンテーションやポスター発表などの表現による評価

## 指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

総合的な探究の時間推進委員会・・・教務主任、各学年主任、学科長、道徳コーディネーター、授業担当者代表1名で組織する。全体計画や各種計画の作成、運用、評価についての協議、校外の支援者との連携のためのコーディネートを行う。

授業担当者会議（学年会議）・・・授業担当者で指導方法や評価の観点、進捗状況について適宜情報を共有する。